



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2020 年 4 月 5 日発行 第 1 号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



新年度のごあいさつ

令和 2 年度がスタートしました。昨日は、全米さくらまつりで中学部 3 年生が日本文化親善大使として、高等部の生徒は、日米協会等のボランティアスタッフとして活躍するはずでした。また、本日 5 日は、令和 2 年度の始業日。本来であれば、始業式で「1 年間の目標を明確にするとともに、1 日 1 日の授業日を大切にしましょう」と呼びかけることにしていましたが、それができずに残念な思いであります。

しかしながら、この「はなみずき」だけは、休校期間中も出し続け、校長としての思いや学校の現状について発信し続けたいと考えています。皆様にとって有益な情報提供を心がけますので、今後ともご愛読いただきますようお願いいたします。

さて、本校は 8 月 22 日まで対面授業ができない状況に置かれました。授業日数にして 13 日、78 コマの学習機会を失うことになります。この夏を過ぎても新型コロナウイルスの脅威に晒され続けるようであればなおさらです。

学校の教育課程を預かる校長として、この状況を看過することはできません。現地校が行っているように「オンライン授業」を実施し、学校教育への影響を少しでも軽くしたいと考えています。

また、ご家庭でも日本語の学習にしっかりと取り組んで欲しいと思います。様々な困難が付きまとうであろうことは百も承知です。補習授業校の本来の目的を達成するために、私たち教員は、第 2 の学校である家庭、第 2 の担任である保護者と連携しながら最大限の努力を重ねていく所存です。力を合わせ、共に苦難を乗り越えて参りましょう。

シンガポールで出会った親子

私は、2006 年より 3 年間、シンガポール日本語補習授業校の校長を務めました。シンガポールでは、入学にあたり、補習校で学んでいる子供と同等以上の学力を求めます。ある時、補習校も含めて学校での日本語学習経験が全くない子供が面接審査に望みました。その時の話です。

正直なところ、面接審査にあたっての私の心は、あまり晴れやかではありませんでした。学校での学習経験が全くない子供ですから、「今回も入学をお断りすることになるだろう」と思ったからです。しかし、その予想は完全に裏切られることになりました。文章の読み取りや漢字等の言語に関する知識、教科書の音読等のすべてにわたって、学年相当のほぼ完璧な国語力をもっていたのです。

彼は、日本人学校も補習校もない地域で育ちました。国際校もあるにはあったのですが、入学希望者が多く、入学できないまま過ごしたそうです。そこでご両親は、日本から通信教材を取り寄せ、ホームスクーリングを展開しました。その結果は先に紹介したとおり、まさに家庭学習のお手本のような話です。私はその内容に驚きを禁じえませんでした。

紹介したこの親子の事例。これは、特殊な環境下における例外的な事例なのでしょう。しかしながら、この親子は、ホームスクーリングであっても、十分に一定の目標を達成することができることを私たちに示してくれています。

※新型コロナウイルスを乗り越える一助となればと願いつつ、

今回あえて「はなみずき」で紹介させていただきました。

校長が考える遠隔授業

現在、管理運営委員会は、今後の授業の在り方を探るために、会員の皆様にアンケート調査への協力をお願いしています。その参考にしていただくため、校長が考える遠隔授業のイメージをお知らせします。

校長は、「オンライン授業」を実施しようと考えています。補習校には、先生や同じ目的を共有する仲間との触れ合いながら学ぶという大きな特長があります。課題を与えその添削をする等の方式も考えられますが、画面上ではあっても先生や仲間と顔を合わせることは、学習意欲の向上にも結び付くはずです。また、家庭との連携で大きな効果を得ることも可能です。右の図に示すように、本来学校で行う学習の半分程度を家庭で行うことで対面授業と同じ学習効果を得ることができると考えます。本年度から実行に移そうとしている「共同学習」にも通じる方法です。

小学部国語教科書について

外出禁止令が発令中です。これにより教科書の配布が困難となっております。事務局は、状況を見ながら早い時期に配布しようと考えています。

小学校国語教科書（光村図書改訂版）は以下のリンクから閲覧できます。

<https://www.wjls.org/%E6%95%99%E7%A7%91%E6%9B%B8%E6%83%85%E5%A0%B1/>

小学部国語科のイメージ

家庭で

- 教師から配信された物語文の朗読を見る・聞く→声に出して読む。
- 教材で使われている言葉の意味を調べる。
- 漢字プリントをこなす 漢字を読む→漢字を書く。

授業で

- 朗読練習の成果を発表する。
- 授業用ワークシートを活用し教材文を読み深める・教師の解説を聞く。
- 考えたこと・わかったことを友達と共有する。

家庭で

- 漢字ドリルを活用。新出漢字が使えるようになるまで習熟する。
- さらに音読をくり返し、教材に慣れ親しむ。
- テストをするなどして学習成果を確認する。

小学部算数科のイメージ

家庭で

- 授業単元の前提となる既習内容を確認する。
- 新出問題を読み、解決のための見通しをもつ。
- 自力で解決できそうであればやってみる。

授業で

- 学習のめあてを確認し、解決する問題を読む。
- 次善に考えた解決の見通しを出し合う→それぞれが課題解決に取り組む。
- 課題解決方法を交流する→教師の説明（まとめ）を聞く。

家庭で

- 計算ドリルを活用。新出課題解決法に習熟する。
- 学習したことをもとに、文章題を自分でつくってみる。
- テストをするなどして学習成果を確認する。

慣用句 クイズ動物編7解答

解答：虫の息	(むしのいき)	弱り果て今にも死にそうな状態	その時の呼吸
虫唾が走る	(むしずがはしる)	良くないことが起こりそうな気配	悪い予感
虫の知らせ	(むしのしらせ)	ちょっとしたことでも気に障る状態	不機嫌
虫の居所が悪い	(むしのいどころがわるい)	胸がむかむかするほど不快である	

解説：「虫の息」虫のような弱い呼吸の意味。「けが人は病院に運ばれたが、すでに虫の息だった」

「虫唾」とは逆流してくる不快な胃液のこと。「あの人は顔を見ただけで虫唾が走る」などという。

昔、人の体の中に虫が住んでいると考えていた。「昨日、父の夢を見たのは虫の知らせだったのかも知れない」等と使う。機嫌が悪いのを虫のせいにするのも面白いものである。（R1 40 号の解答）